



次世代グローバルリーダー育成事業 ～世界で活躍する「人財」を育成する～

茨城県教育庁学校教育部義務教育課

『新しい人財育成』へのチャレンジ

2018年度から新規事業として、「次世代グローバルリーダー育成事業」がスタートしました。この事業は、本県が新しい茨城づくりを目指し進めている「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の柱の一つである『新しい人財育成』へのチャレンジ』をもとに立ち上げた事業です。

この事業のゴールは、「グローバルマインド」を有するトップリーダーの育成にあります。そのため、単に英語力を高めるのではなく、英語を一つのツールとして活用し、海外の人々とのコミュニケーションをとりながら、社会問題に関する自分の考えを討論できるような思考力やスキルの育成をねらいとしています。主な事業内容は、グローバル社会で活躍するために必要となる「英語力」、「価値創出」、「異文化交流」の3つのテーマから構成されており、2年間実施するプログラムです。

今年度は、県内の学校に通う英語の学習意欲・能力の高い中高生から88名の応募があり、その中から書類審査とオンラインテストを参考に、40名の受講生を選考しました。

オンラインレッスンの活用

まず、「英語力」の育成では、オンラインを活用したトップレベルの英会話学習を実施しています。これは、ネイティブ講師と週5回のマンツーマンレッスン、週1回のグループワークを通して、アカデミックイングリッシュの習得を目指します。最終的には、2年間で、英語検定準1級程度以上の英語力を身に付けることを目標としています。また、受講生の英語力の伸びを図るために、GTEC (CBT) を年に2回実施することとしており、9月現在までの結果から、40名中9名がこの目標を達成しています。

次に「価値創出」では、年に4回（計7日間）の集合研修会を開催し、新たな価値の創造や、思考力やプレゼン力などを育成しています。

世界の第一線で活躍する人財との交流

5月26日に開催したキックオフ研修会では、「世界の第一線で活躍する人財との交流」として、BBCワールドニュースで日本人初のレポーター兼プレゼンターである大井真理子さんを講師に迎え、基調講演と交流会を実施しました。受講者にとって、世界を舞台に一人の女性として、一人の日本人として、世界の今を伝え続けている大井さんの言葉は、どれも説得力のあるものでした。特に、交流会で行われたレポートの実演では、大井さんの仕事に対するプロとしての意識や、高い表現力、人を引きつける人間性などを肌で感じ、大いに影響を受けたようです。参加した受講生からは、「英語力だけでなく、自分の伝えたいことを伝えられる熱意が必要だ」という話がとても印象に残った」「断られても、食らいつくことの大切さを知った」などの感想が見られました。

短期集中型の英語漬け体験

8月25日、26日、27日の3日間で開催した集中研修会では、模擬国連会議演習やディベート、海外大学留学生との交流会を行いました。



BBCワールドニュースで活躍する大井氏との交流

模擬国連会議演習では、『国連弁当をつくろう』という議題に取り組みました。国連において、参加者全員が食べる弁当のメニューを提案するというもので、2~3人のグループに分かれ、各国の大使として、自国の食材をアピールしながらメニューに盛り込んでもらえるように交渉しました。模擬国連会議については、参加経験がない受講生が多かったこともあり、初めは慣れない様子でしたが、すぐに他国の文化などについても理解を深めながら、いかに自国の食材を盛り込んでいくか、交渉することを楽しむ様子が見られました。



大使として自国の食材をアピールする受講生

ディバートの研修では、制服の必要性など身近な問題について、肯定チームと否定チームに分かれ、各チームが第三者を説得する形式で行いました。説得力のある説明ができて拍手が起こるチームもあれば、思うような説明ができず、苦勞するチームも見られました。論理的に伝えることの大切さや難しさを実感した研修会になりました。

このように、模擬国連会議演習やディバートで育成しようとしている論理的思考力や批判的思考力、交渉力、調整力などは、新たな価値観を創造するためには、欠くことのできない重要な力であり、受講生にもっと身に付けてもらいたい部分なので、今後も研修に力を入れて取り組んでまいります。

海外大学留学生との交流

最後に「異文化交流」では、米国や英国、中東などの海外の大学に進学した日本人留学生から、留学した理由



チームで考えた意見を相手に伝える

や留学生活などについて学びました。これまで、海外の大学への進学については、考えていないという受講生がほとんどでしたが、留学生との交流を通して、進路選択の幅が広がったと話す受講生が増えました。

本プログラムの受講者は、将来、海外で働くことや世界で人の役に立つことをしたいと考えている受講生が多く、今回、年齢の近い留学生と交流できたことは、自分の将来について具体的に考えていくための、よい機会となりました。

今後の展開

2019年度は、この事業も2年目に入ります。1期生に加え、2期生を新たに募集し、事業を拡充していく予定です。

この事業は、生徒たちの夢を応援する事業です。このプログラムを修了した生徒たちが、将来、世界で活躍する「人財」として力を発揮できるよう、さらなるプログラムの充実に努めてまいります。



海外大学留学生を囲んで、話を聞く受講生たち